

# ユニバーサル・カウンタ

# TC110/TC120

TC110, TC120は、横河電機社の商標です。

品番	GP・IBボード	価格	動作環境
W32・TC120・R	ラトックシステム社	55,000 円 (消費税は含まれておりません。)	Win98SE/Me Win2000/XP Excel2000 Excel2002/2003
W32・TC120・C	コンテック社		
W32・TC120・N	NI社		
使用できる機種 TC110, TC120			



## 機能

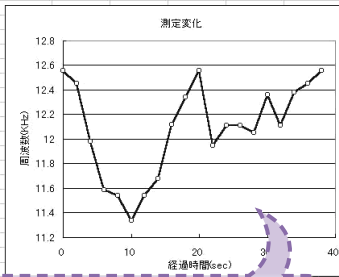
測定データをリアルタイムにExcelシート上に取込めます。ファンクション等の切替はパソコンから全ておこないます。Excelシートに取り込んだデータはExcelの機能で作図・計算等自由に処理できます。

## 概要

スタートすると、ファンクション・ゲート時間設定した後、指定されたサンプリング時間間隔で、指定されたサンプル数のデータを取込みます。必要なら日付時刻も付加することもできます。

本プログラムはExcel上のアドインとして動作します。Excel上から本アドインを起動すると、Excelシート上に、このウィンドウが現われます。ファンクション・ゲートタイム、時間間隔、取込回数等を設定し「START」ボタンをクリックするとデータの取込みを開始します。

	経過時間	測定値(KHz)
23:38:47	0.00	12.56
23:38:48	2.01	12.45
23:38:53	4.00	11.98
23:38:53	6.01	11.59
23:38:55	8.01	11.54
98/04/05 23:39:57	10.00	11.34
98/04/05 23:39:59	12.01	11.54
98/04/05 23:40:01	14.01	11.66
98/04/05 23:40:03	16.00	12.12
98/04/05 23:40:05	18.01	12.34
98/04/05 23:40:07	20.00	12.56
98/04/05 23:40:09	22.01	11.85
98/04/05 23:40:11	24.01	12.11
98/04/05 23:40:13	26.00	12.11
98/04/05 23:40:15	28.01	12.05
98/04/05 23:40:17	30.01	12.36
98/04/05 23:40:19	32.01	12.11
98/04/05 23:40:21	34.01	12.38
98/04/05 23:40:23	36.00	12.45
98/04/05 23:40:25	38.01	12.56



測定中は、下記のように下記ウィンドウが縮小表示となります。

Excelシートに取込んだデータは、キーボードから入力したデータと同じように、Excelの機能を利用して、作図・編集・計算等を自由に行うことができます。また、事前にデータが取込まれる領域をExcelのグラフウィザードで設定しておけば、データ取込とグラフ化がリアルタイムに行えます。

本アドインに自動グラフ作図機能はありません。Excelのグラフ機能を使用し、ユーザ側で作図してください。

## 操作説明

- 測定器からデータの取込を開始します。
- 測定中は「赤色」、ポーズ中は「青色」、停止中は「灰色」となります。
- 測定ファンクションを設定します。
- 設定した測定FUNCTIONの項目によっては、この部分に「MULTI」の設定が表示されます。
- データを取込む回数を指定します。但し、「STOP」ボタンでいつでも中断できます。また、何も入力されていないときは、64000回と解釈されます。入力できる最大回数は、64000回です。
- データを取込む時間間隔を秒の単位で入力します。ここで入力した時間と実際の時間間隔では若干の差異が発生します。何も入力がない場合やゼロが入力された場合は、最速でデータを取込みます。入力できる最大時間は、3600秒です。
- A,Bチャンネルの入力条件を設定します。
- データに日付時刻を付加します。
- 最初のデータ取込時、測定項目名等のヘッダを付加します。
- トリガ電圧レベルを設定します。
- ここをダブルクリックするとトリガが「AUTO」になります。
- アッテネータを設定します。
- カップリングを設定します。
- スロープを設定します。
- フィルタをONにします。

- データの取込を一時中止します。もう一度クリックすると、取込を再開します。
- データの取込を停止します。
- 測定中、間欠時間が2秒以上の時、サンプリングまでの残り時間をカウントダウンします。
- 「PAUSE」中、有効となり、クリックする毎にデータを取り込みます。「SPOT専用測定モード」でも使用します。
- ゲート時間を設定します。
- Excelシート上のカーソルを上下に移動します。
- Excelシート上のカーソルを左右に移動します。
- HOLD OFFを設定します。
- 測定結果をExcelシートへ入力する時の単位を下記から選択します。  
< K,実値,m,u,n,p >  
「K」を選択すると、測定周波数が12000の時「12」がExcelシートに入力されます。
- COMA ONを設定します。
- 測定器本体で設定したGP・IBアドレスと同じ値を設定します。
- アドインを終了します。
- チェックすると、測定中、FREE RUNとなりチェックを外すとHOLDモードになります。
- データの入力と共にシートをスクロールします。

### スポット専用測定モードの使用方法

「PAUSE」ボタンを先にクリックして、その後「START」ボタンをクリックすると「スポット専用測定モード」になります。マルチメータの設定が行われた後、「SPOT」ボタンのクリック待ちとなります。「SPOT」ボタンをクリックする毎にデータがExcelシートに取込まれます。この時「SPOT」ボタンをクリックする代わりに「スペース」キーを押しても同様の結果となります。この「スポット専用測定モード」では、「経過時間」の欄には「1,2,3...」と「連続番号」が入力されます。例えば、被測定物を取り換えながら、個々の被測定物の測定を行う場合に便利です。「スポット専用測定モード」を終了するためには、「STOP」ボタンをクリックします。

注)ここで入力した内容は、本ソフトを終了した場合でも保持されています。